

## 障害者歯科医療推進モデル事業 報告および課題解決に対する考え

日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 菊谷 武

## ○北多摩南部医療圏の特徴

23区に隣接した多摩地区には、約400万人が居住し、北多摩南部医療圏には、約100万人、北部医療圏には約70万人が居住している。両医療圏には東西に主要な鉄道路線があり、南北の交通機関は貧弱である。東西に延びる鉄道を利用し、23区内に出るのは容易だが、南北の移動は困難。北部医療圏には、西武池袋線、西武新宿線が通る。南部医療圏には、中央線沿線の三鷹、武蔵野、小金井市が立地し、京王線沿線には調布、府中市が、小田急線沿線の狛江市が立地し、それぞれ生活圏が異なる。

南部医療圏における特定機能病院は、杏林大学、武蔵野日赤、東京都多摩総合医療センター、公立昭和病院がある。

## ○明らかになった実態

- 1) 主要鉄道の沿線沿いに大きな偏りがみられずに障害者の診療に対応している診療所が立地している。
- 2) 比較的多く患者を受け入れている診療所が地域に偏らず分布している。
- 3) 障害者診療を訪問診療で実施している医療機関が多い。
- 4) 病院歯科での受け入れ状況は貧弱である。
- 5) 高次医療機関（多摩小児）では、都内全域から患者が来院している。弱い行動管理で対応可能な者、定期検診の者が多く来院している。
- 6) タオルなどによる抑制や全身麻酔症例においては、高次医療機関が対応していた。定期検診においては、弱い行動管理で対応な場合も多くこれらは、地域の医療機関で対応している。
- 7) 受診行動では、“近いから”“よく診てくれるから”が多く、“専門性が高いから”“バリアフリーだから”の理由は少なかった。地域で気軽に診てもらえる、相談できる医療機関が求められている。

## ○連携に関する課題

地域医療資源の役割分担が明確でなく、資源が適正に利用されていないと思われた。より一層の連携が必要であると考えられた。縦覧できる受け入れリストの作製より、気軽に相談、依頼できる顔の見える関係構築が必要である。何よりも“歯科—歯科連携”ができていない。

## ○その他の課題

### 1) 連携ツール作成に対する課題

地域医療機関における顔の見える関係作りが重要と考えた。この関係の構築によって、各地域医療機関の真の受け入れ態勢が共有できると考えられた、そこで初めて、“連携ツール”が有効となると考えた。

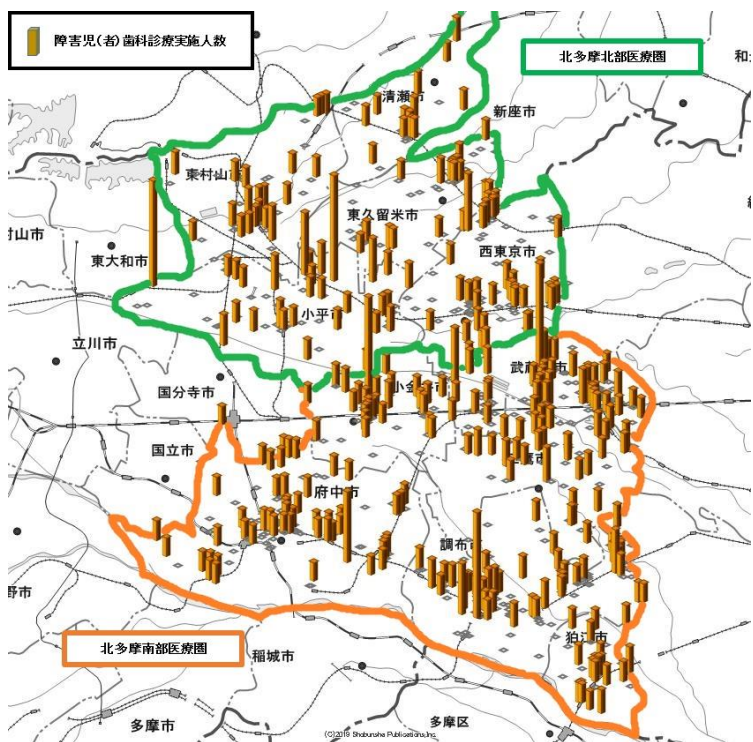
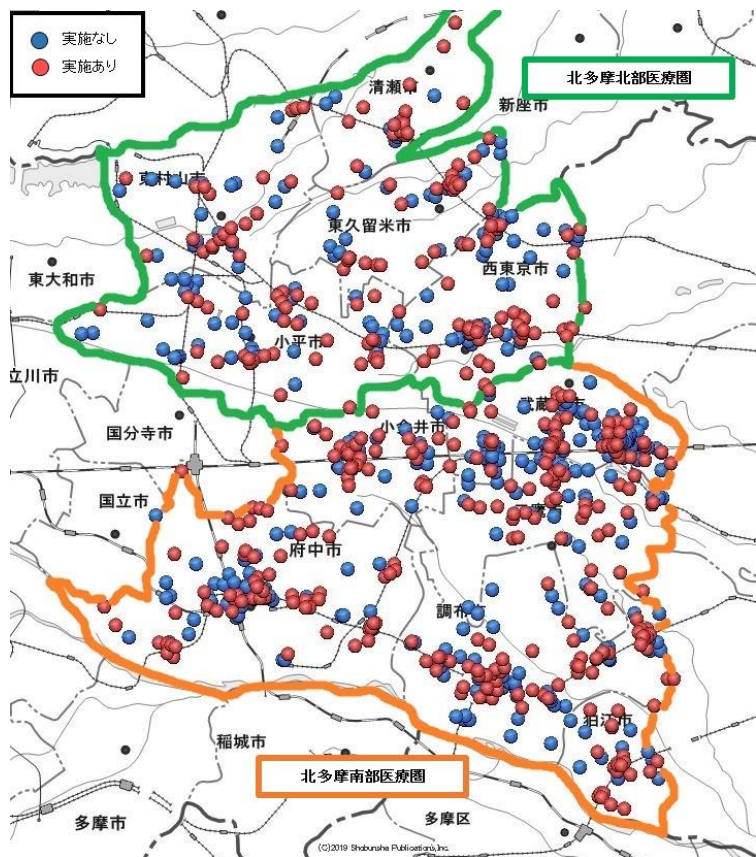
2) 研修会では、予想に反して多くの参加者を得ることができた。一方で、大人数を集めることによりすそ野の拡大にはつながるが、上記の顔の見える連携には結びつかない。

3) 歯科としての受け入れ体制の構築をまず急ぐ必要があり、その受け入れ態勢を基に、他のステークホルダーとの協議、連携体制の構築をするべきではないか。

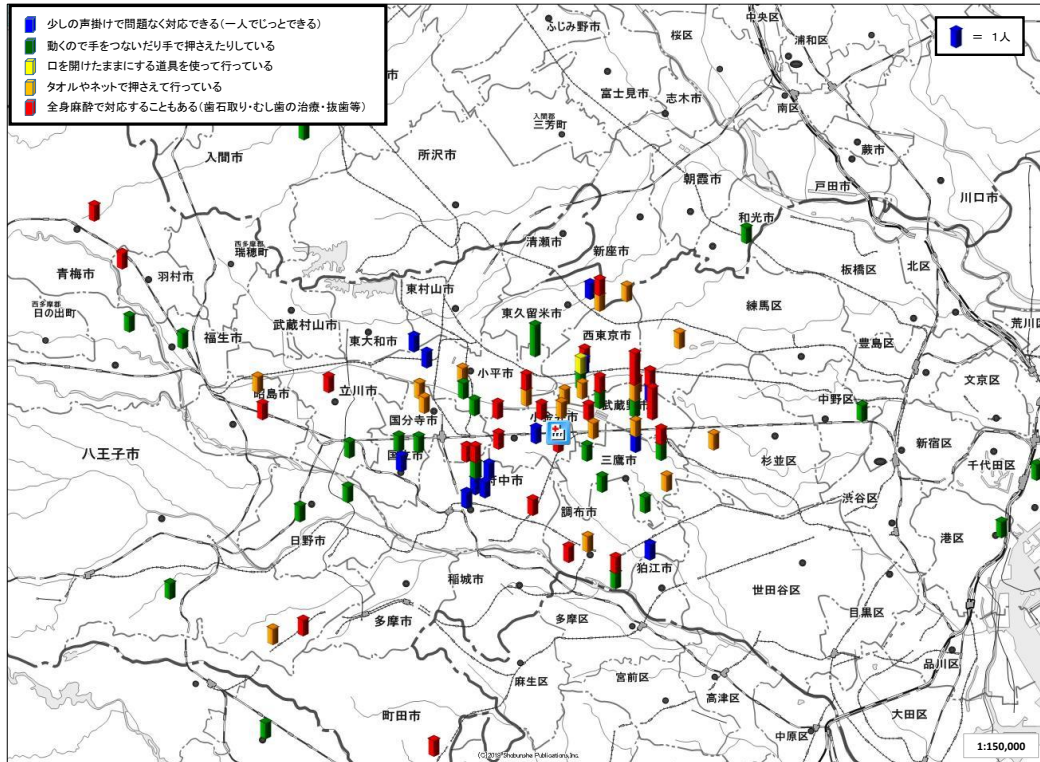
## ○今後の取り組み

上記課題を踏まえて、今回、積極的に障害者診療を実施している地域医療機関と、高次医療機関（多摩小児、多摩クリニック、東京小児療育病院（域外）との顔の見える関係構築のために、連携会議を開催することになった（9月初旬開催予定）。

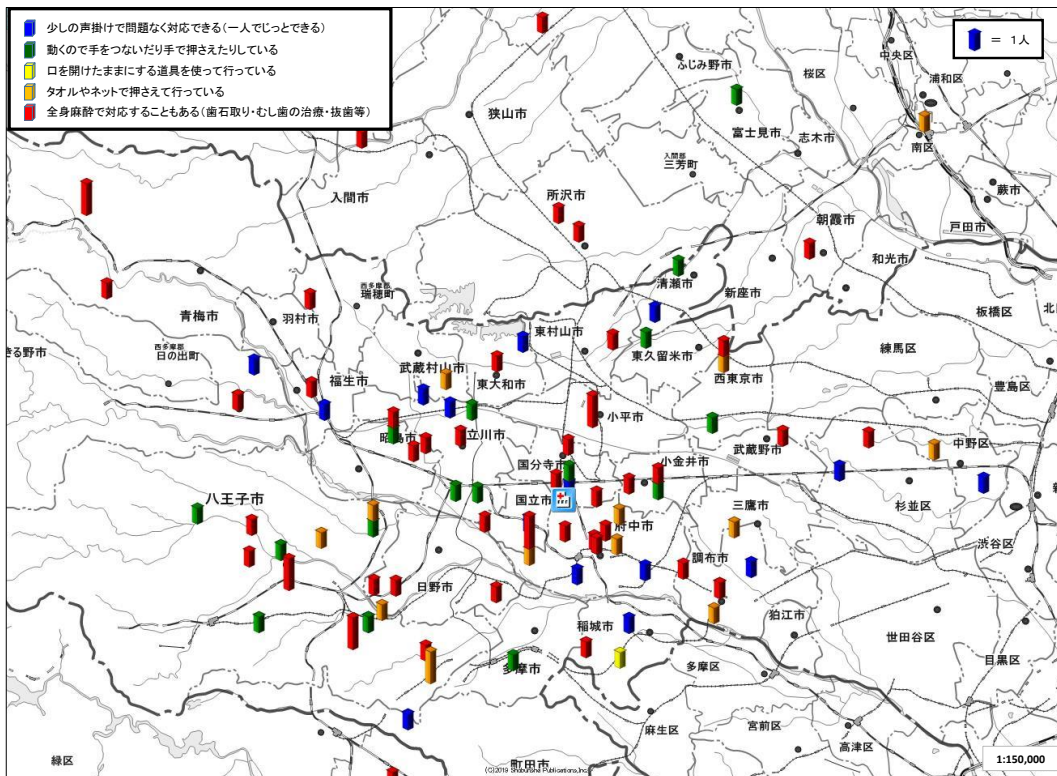
障害者歯科実施人数【歯科診療所】 n=834



【日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック】における歯科治療時の対応



【都立小児総合医療センター】における歯科治療時の対応





## 歯科→歯科 連携シート

医院名( )→( )

フリガナ		疾患名			
患者氏名					
生年月日	年 月 日	年齢	歳 か月	<input type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> 女
<b>●障害の程度</b> (該当する項目に✓をつけて下さい)					
<input type="checkbox"/> 車椅子 → <input type="checkbox"/> ユニットに移乗不可 <input type="checkbox"/> 介助があればユニットに移乗可 <input type="checkbox"/> 介助なしでユニットに座れる					
<input type="checkbox"/> 歩行可能 → <input type="checkbox"/> ユニットに座って診察可 <input type="checkbox"/> じっとして座れない					
<b>●コミュニケーションについて</b> (該当する項目に✓をつけて下さい)					
<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 簡単な言語は可能 <input type="checkbox"/> 目で見たもの(言語以外)で可能 <input type="checkbox"/> 困難 <input type="checkbox"/> その他( )					
<b>●特性について</b> (該当する項目に✓をつけて下さい)					
<b>歯科診療の協力度</b>					
<input type="checkbox"/> 歯科診療に協力できる <input type="checkbox"/> 絵カードなどツールを利用して診療可能 <input type="checkbox"/> 歯みがき程度はできるが治療は困難 <input type="checkbox"/> まったくできない <input type="checkbox"/> その他( )					
<b>感覚過敏</b>					
<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 音が苦手 <input type="checkbox"/> 特定の味が苦手 <input type="checkbox"/> ライトが苦手 <input type="checkbox"/> においに敏感 <input type="checkbox"/> 触られることが苦手(部位: ) <input type="checkbox"/> その他( )					
<b>●歯科診療で困ったこと</b> (自由記載)					
病院名・歯科医師名:					
tel:			mail:		

# 医療的ケア児歯科診療マニュアル



令和元年度東京都障害者歯科医療推進モデル事業



# 目次

はじめに .....	2
第1章 医療的ケア児とは .....	3
第2章 医療的ケア児の病態 .....	6
第3章 医療的ケア児の口腔の特徴 .....	11
第4章 医療的ケア児の口腔ケア .....	15
第5章 医療的ケア児の歯科診療 .....	17
第6章 医療的ケア児の摂食嚥下障害への対応 .....	24
第7章 医療的ケア児の在宅歯科診療と地域連携 .....	27

